



2021年3月3日

東日本旅客鉄道株式会社

JR東日本「Beyond Stations 構想」の推進について

～駅は「交通の拠点」を超えてヒト・モノ・コトが“つながる”「暮らしのプラットフォーム」へ～

- JR 東日本グループは、グループ経営ビジョン「変革 2027」における「くらしづくり」の実現に向けて、「Beyond Stations 構想」を推進します。ヒトの生活における「豊かさ」を起点として駅のあり方を変革し、「交通の拠点」という役割を超えて、駅を“つながる”「暮らしのプラットフォーム」へと転換します。
- 社外パートナーと共創しながら、リアルな交流拠点の強みを活かし、駅を「新たなビジネスを創発する拠点」へと変えていきます。駅を持つ可能性をさらに広げ、新たな収益確保と価値創造を実現します。
- 具体的には、「新しい事業領域を創造するサービス」として、社会課題を解決する人財の育成を目指すエキナカレッジを開校します。加えて、エキナカに OMO*モデルの店舗の展開や、JRE MALL・エキナカで購入した商品を駅の改札などで受け取りができるサービスを開始します。また、「新しい移動を創造するサービス」として、通勤定期をお持ちのお客さまに向けて、コーヒー・駅そばの飲食に使えるサブスクリプションサービスや、シェアオフィスの割引サービスのトライアル展開を行います。
- 上野駅、秋葉原駅、八王子駅を、「Beyond Stations 構想」を象徴的に体現するモデル駅として整備を進め、JR 東日本エリアにおいて順次展開します。今後も「スマート健康ステーション」「メディアステーション」など新たなサービスを創造し、本構想のさらなる発展に向けた取り組みを推進していきます。

*Online Merges with Offline の略で、オンラインとオフラインの融合の意。

1 「Beyond Stations 構想」が目指す姿

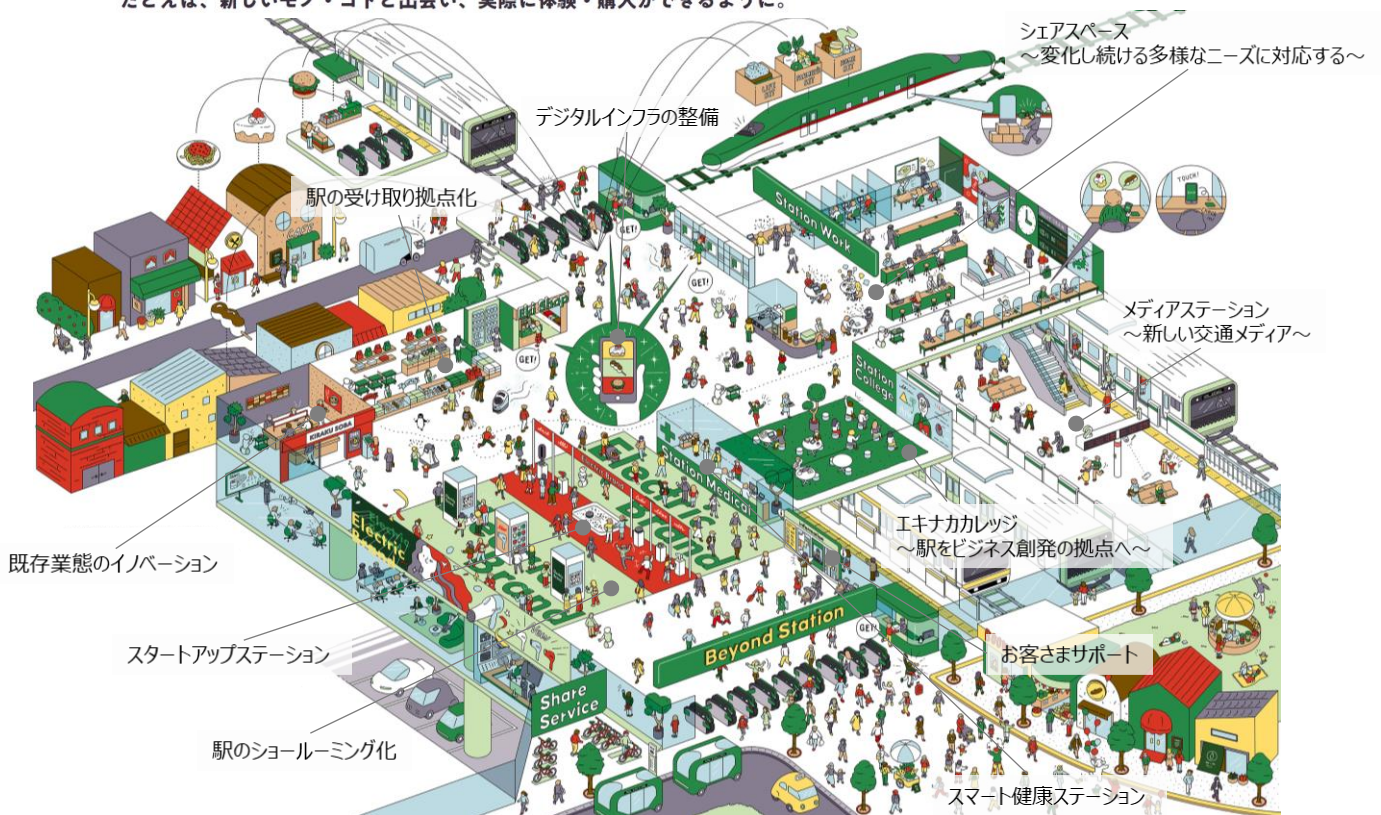
駅空間の配置と機能を変革するとともに、JRE POINT 生活圏の拡充を通じ、お客さまや沿線のみなさまのくらしとつながっていきます。お客さまと、暮らしを支えるサービス、地域・地方、デジタル、安全安心をつなぎ、さらにお客さま同士のつながりを創発することで、お客さま一人ひとりの可能性を広げ、私たちがからこそ提供できる「心豊かな生活」を実現していきます。

「通過する」「集う」から「つながる」へ。



“これからの駅の姿”

- たとえば、移動の合間の時間で、働く場や学びの場にチェックインできるように。
- たとえば、スマホ一つで、地域・地方の名産をいつでも受け取れるように。
- たとえば、新しいモノ・コトと出会い、実際に体験・購入ができるように。



2 新しい“つながる”サービス

(1) 新しい事業領域を創造するサービス

■ 駅でつながる、課題発掘型人材を育成する「JR 東日本カレッジ(仮称)」を開校します！

(2021年9月予定)

JR 東日本カレッジ(仮称)を拠点に、周辺地域の社会課題を主たるテーマにサステナブルビジネスを創発するリーダー人材を育成します。オンライン講座に加え、フィールドワークを通じて課題解決およびビジネス創発を進めます。2021年9月予定の東京駅プレ開校では、「環境」をテーマに、テクノロジーを活用した河川などの水質浄化、資源循環などに取り組みます。今後、順次、社会課題のテーマと実証エリアを拡大します。また、JR 東日本社員も共に参画し、駅のビジネス創発拠点化、地域への貢献、および ESG 経営を推進します。



エキナカカレッジのイメージ

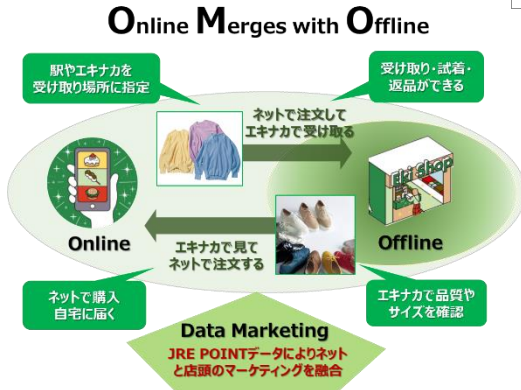


■東京駅に、OMO に対応したベルメゾンの新業態を出店します！(2021 年春以降予定)

ネットショッピングの利用の増大など、お客さまの消費行動の変化を踏まえ、JRE MALL と生活導線上のエキナカ店舗を連携した OMO モデルのサービス提供を開始します。ベルメゾン(株)千趣会、2020 年 9 月 資本業務提携)の新業態の東京駅への出店を皮切りに、便利なくらしづくりを進めます。

ショールーム化する“つながる”駅のイメージ

将来的には、VRやARなどの先端テクノロジーを活用し、リアルとデジタルを融合した小売と広告がシームレスにつながる購買・メディア体験を、さまざまなエキナカやホームなどにおいて提供することを目指します。

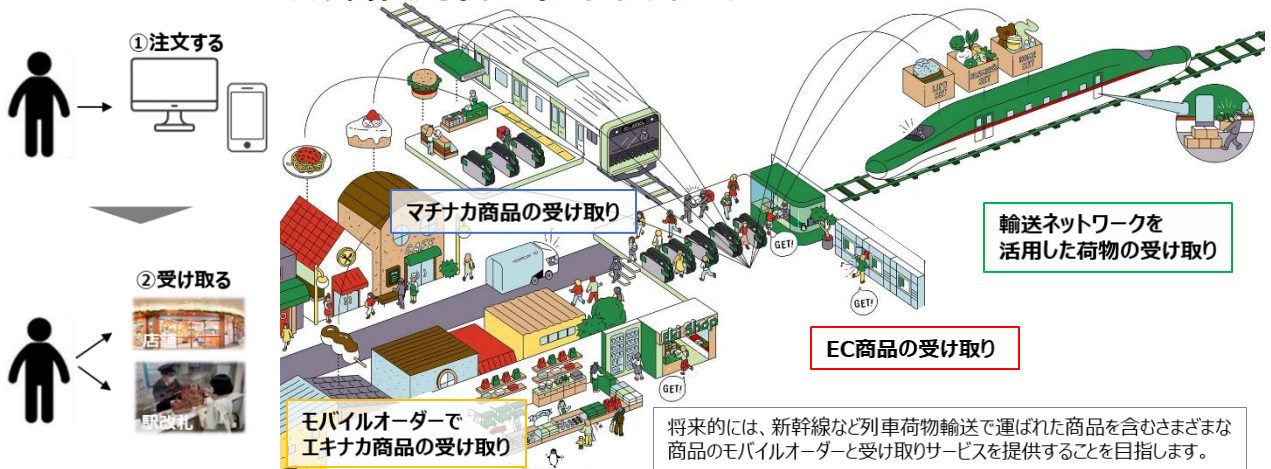


■JRE MALL の商品やエキナカ商品を駅改札などで受け取れるようになります！(2021 年度夏開始予定)

JRE MALL やエキナカで取り扱う商品を、駅改札で受け取ることができるサービスを展開します。ベルメゾン商品を対象に、JRE MALL で注文した商品を改札にて受け取るサービスを開始します(中央線武蔵境駅から開始予定)。順次、取扱商品とエリアを拡大していきます。

このほか、移動中に効率的に、また店舗の営業時間外でもエキナカ商品の受け取りを可能とするため、EC サイト「ネットでエキナカ」で購入した商品を、これまでの店舗受け取りに加えて、駅改札でも受け取ることができるサービスを展開します。

受け取り拠点となる“つながる”駅のイメージ

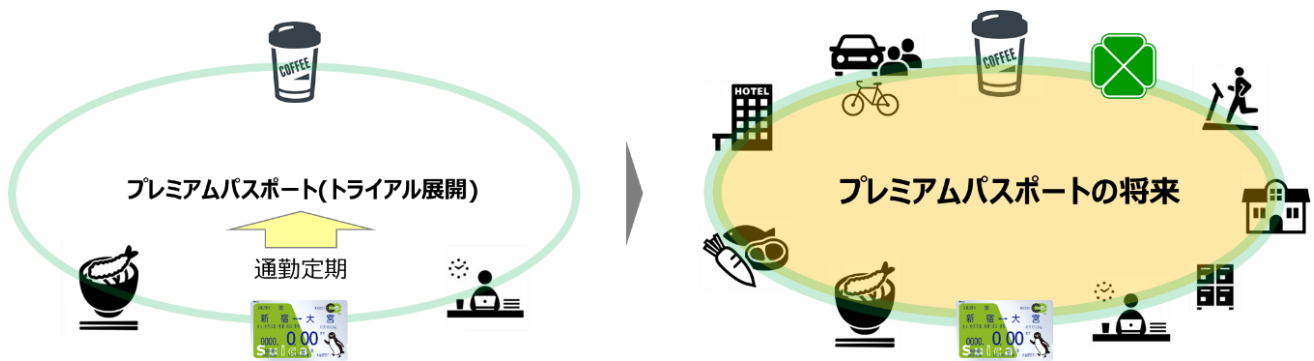


(2) 新しい移動を創造するサービス

■通勤定期券をお持ちのお客さまへサブスクリプションサービスなどのトライアル展開を実施します！

(2021年6月予定)

通勤定期券をお持ちのお客さまを対象に、コーヒー・駅そばについては上野駅、秋葉原駅、八王子駅で、シェアオフィスについては全てのSTATION BOOTHで、サブスクリプションサービスや割引サービスをトライアル提供します。将来は、鉄道サービスを含む対象サービスの拡大を検討します。



3 「Beyond Stations 構想」の今後について

社外パートナーとの共創を通じ、リアルな強みを活かして駅のマーケティング機能をさらに強化し、「駅のビジネス創発拠点化」を推進し続けます。

具体的には、上野駅、秋葉原駅、八王子駅を、「Beyond Stations 構想」を象徴的に体現するモデル駅として整備を進めるほか、JR 東日本エリアの他の駅においても、順次展開していきます。

また、オンライン医療サービスを活用した「スマート健康ステーション」や、駅空間とメディアを融合し駅空間の新しい媒体価値を追求する「メディアステーション」など、「Beyond Stations 構想」のさらなる発展に向け、取り組みを推進していきます。

※掲載画像は全てイメージです。